

【議会報告会 報告書】（全体会） 担当：1班

- ・開催日時：平成29年11月25日（土） 午後7時30分～午後8時40分
- ・場所：煉瓦館 講義室A・参加者数：2人（男2人）
- ・担当議員名：渡辺豊子（司会進行）、河合弘樹（挨拶）、浦川佳浩（報告・班代表）
服部脩二（記録）、坂上巳生男（記録補助）

～質疑応答・意見交換における主な発言

（質問） 経常収支比率の悪化とは、どう言うことか？

（回答） 平成27年度と28年度を比べると5,9%も上がっているのは、地方交付税算定期によって、町税収入が減少している中で、地方交付税や地方消費税交付金等、国からの収入が大きく減り、歳出面で扶助費や退職金等の人件費が増加したことによる。平成27年度は、消費税が5%から8%に増額されたことに伴い、地方消費税交付金が各自治体にたっぷり入って来た。

平成28年度の交付金が減った理由はわからない。

（要望） 予算を立てるときに、非常に困るのではないか？

見込み違いが大きく影響するので、補正する方法について、町としてどうするのか、しっかりチェックして欲しい。

（質問） 11ページの阪口議員の質問で「公共施設整備基金と財政調整基金の残額は？」の質問に対して答えは、平成28年度末で合計約19億円（現金ベース）とはどうゆうことですか？

（回答） 現金での残額が19億円で、他にも土地とかの財産が7億円程度があります。

（質問） 歳入は収入だと思うが、町債が6,6%あり、歳出で公債費が9,0%とはどう言うことか？

（回答） 毎年事業を推進するため、長期事業等は借金をした方が有利である。

統計上は、基金を取り崩すことが赤字にイコールではない。

（質問） 金利については、どのように運用しているのか？

（回答） 借り換えのシステムで、非常に高い金利は残っていない。今後もしっかり見直をしていかねばならない。

国からの借金が大半で、丸々借金に見合う地方交付税が出ているかどうか、地方交付税の算定基準を毎年変えている部分がある。

（要望） 町民に良く判るように、単年度の会計制度を会社並みにして欲しい。

（要望） 全ての町民がインターネットを使えるわけではなく、図書館でも見れるようにして欲しい。

（質問） 町民が出来ることがあればしたいが、何かあるのか？

（回答） パブリックコメントで行財政改革を進めて行くので、意見を言って欲しい。

歳入を増やすことは難しいので、歳出を減らす努力をしていく。

（意見） 今回の議会だよりから、各議員の動画が見れることは、大変素晴らしい、若い人が増えるのが楽しみです。